

エリック・ロメール監督特集上映 デジタル・リマスター版

四季の物語

春、桜が咲く。パリ郊外の別荘で。
夏、ブルターニュのリゾート地で。
秋、ロース渓谷のワイン畑で。
冬、寒々としたパリの街で。
エリック・ロメールが贈る、
四つの小さな恋物語。



春のソナタ ©1989 Les Films du losange



夏物語 ©1996 Les Films du losange



恋の秋 ©1997 Les Films du losange



冬物語 ©1991 Les Films du losange

Conte de printemps
Conte d'été
Conte d'automne
Conte d'hiver

Éric Rohmer

contes des quatre saisons

【上映作品】『春のソナタ』『夏物語』『恋の秋』『冬物語』

エリック・ロメール
デジタル・リマスター版
監督特集上映

四季の物語



©1989 Les Films du losange

春のソナタ Conte de printemps

《四季の物語》第1弾／1989年／107分／カラー
出演：アンヌ・テセードル、ユグ・ケステル、フロランス・ダレル

哲学教師ジャンヌは、旅行中の恋人の家の汚さに耐えきれず自分のアパートへと逃げ帰るが、そこはいとこが占領中。居場所のないジャンヌは、パーティーで知り合った18歳のナターシャの家に泊まることに。そこにナターシャの父イゴールと若い恋人が加わり、パリの家とフォンテーヌブローの別荘で、女たちの奇妙な静いが始まる。美しい春の庭でくり広げられる、三人の女と一人の男の恋愛ゲーム。



©1997 Les Films du losange

恋の秋 Conte d'automne

《四季の物語》第4弾／1997年／112分／カラー
出演：マリー・リヴァリエール、ベアトリス・ロマン

親友同士のイザベルとマガリ。娘の結婚の準備をするイザベルは、夫の死後独身のままでいるマガリを心配するが、ワイン畑を営む彼女に焦る様子はない。一計を案じたイザベルはマガリのふりをして婚活を始めるが、事態はおかしな方向へ。40代女性の恋と友情を描いた作品だが、対照的な二人の関係や、ペアの相手が微妙に入れ替わる様など、『友だちの恋人』との対応関係もおもしろい。



©1996 Les Films du losange

夏物語 Conte d'été

《四季の物語》第3弾／1996年／114分／カラー
出演：メルヴィル・ブポー、アマダ・ラングレ

ヴァカンスを恋人のレナと過ごすため、リゾート地ディナールへやってきた大学生ガスパール。クラブ屋で働くマルゴと親しくなるが、パーティーで知り合ったソレーヌとも急接近。そんななか待ち望んだレナとも再会し…。四季シリーズで唯一男が主人公となった本作は、マルゴ役のアマダ・ラングレの存在もあり『海辺のボーリーヌ』とのセットで語られることも多い。ロメール最後の夏休み映画。



©1991 Les Films du losange

冬物語 Conte d'hiver

《四季の物語》第2弾／1991年／114分／カラー
出演：シャルロット・ヴェリ、フレデリック・ヴァン・デン・ドリッシュ

フェリシーは旅先で知り合ったシャルルと運命的な恋に落ちるが、旅から戻った後、彼に教えた自宅の住所の間違いに気づく。5年後、一人で娘を育てるフェリシーは、インテリのロイックと既婚者のマクスアンの間で揺れ動くが、心は今もシャルルのもとにある。運命に弄ばれながら本物の愛を探し求める女の信念と、やがて訪れる奇跡。タイトルはシェイクスピアの悲喜劇『冬物語』より採られた。

「緑の光線」『冬物語』は私に大きな影響を与えました。私にとって最も重要な監督、それがロメールなのです。

——ミア・ハンセン——ラブ（映画監督）

同時代のフランスを捉えた最後の連作となった「四季の物語」において、エリック・ロメールは老練というよりむしろ過激なまでの軽やかさで、ささやかな陰謀と偶然が織りなすダンスを示す。

この世界と、生を愛する術を探す人は皆、このシリーズの中に見出すはずだ。全作傑作！

——濱口竜介（映画監督）——

Conte de printemps
Conte d'été
Conte d'automne
Conte d'hiver

Éric Rohmer
contes des quatre saisons

全国共通特別鑑賞券
1,100円(税込) 発売中

★オリジナルポストカード2枚付(数量限定)
※4作品のどの作品でもご利用いただけます。



5/13(金) 6/2(木)

上映スケジュールは公式サイトにて発表

★5/13(金) 初日来場者プレゼント!

多くのロメール映画の編集を担当されたマリー・ステファンさんのインタビュー掲載A3ポスターを先着100名様にプレゼントします。

※無くなり次第終了 ※チケット販売順ではなく入場順にお渡しいたします。

テアトルシネマグループ
ヒューマントラスト シネマ渋谷

明治通沿い地下鉄B1出口正面ココチビル8F

03-5468-5551 | ttcg.jp

[鑑賞料金] 当日一般1,900円/大学生1,500円/高校・中学生・シニア1,000円/毎週水曜サービスデー1,200円

TCGメンバーズカード会員割引いつでも1,300円、火・木曜1,100円 ※オンライン・劇場窓口にて各作品の日時・座席指定券は、ご鑑賞日の2日前より販売